

「二点突破、全面展開 突き動かすのは、『学生時代のガムシャラさ』」



株式会社ティーアンドイー(大洋グループ)

岡部 知寛 社長

映像を通して、人々をハッピーに。若手社長、岡部知寛のスゴさ、ここにあり!

“责任感、使命感、覚悟”を背負う

“若手社長”

映像、そして、イベン

トを通して、人々に楽しさを与える”会社、株式会社ティーアンドイー(T&E)。記憶に新しいのが、昨年放送された九州旅客鉄道(JR九州)の九州新幹線全線開業CMだ。「九州全体を活気づけたい」という思いがぎゅっとこもったこのC

Mは、“カンヌ賞”を受賞し、世間を騒がせた。そんな押し倒されるような勢いのあるこの会社の頂点に立つ人物が“若手社長”岡部知寛さんである。

原点は、僕らと同じ学生時代。

岡部社長のことを昔から

よく知る総務課長の羽野敦さん。「社長のスゴさは“人間観、社交性、見識の広さ”」と語る。

だが岡部社長にも、“息詰まる”ことがある。『学生時代のガムシャラさ』という。そんな時には“学生時代のガムシャラさ”詰まることがよくある

II「原点」に戻るそうだ。



学生時代、受験勉強に勤しむ中、日中韓合同で行われた衛星テストから「国や文化、歴史、風習、宗教、環境などが違えば、論理さえ異なる」ことに気づき、中国・台湾に留学。現地で様々な活動を通して、「日本を客観視でき、また、異文化を知ることは自分自身を知るきっかけとなつた」と岡部社長。

帰国し、空気感や街と共に成長していく力のある福岡を見て、「働くのはここだ」と決意した。「天の時、地の利、人の和」すなわち「天地人」を感じた瞬間であり、これこそが地元「福岡」に根付く理由だ。その後電通九州への入社を経て、父、岡部重幸氏の意志を受け継ぎ、ティーアンドリーの社長として頭角を現していく。

出演者は、告知CM等で募ったボランティアの方々。本番は「一発勝負」で、前日に雨も降り、本当に人が集まるか不安だった。しかし、本番ではそんな不安をかき消すよくなたくさんの人々が集まり、このCM撮

影のスタッフも感動の涙を流していたんだ。

人、場所、苦労、願い…その全てが“繋がった”渾身のCM

社長の思いを理解し、

社員も共に“努力・成長”している。

それが結実したのが九州新幹線全線開業CMのカンヌ受賞ではなかろうか。

このCMのプロデューサーを務めた白石統人さんは、CM作成への思いを熱く語る。「不景氣を吹つ飛ばすかのような、九州人らしい楽しいお祭り」のよつなCMを目指した。

出演者は、告知CM等で募ったボランティアの方々。本番は「一発勝負」で、前日に雨も降り、本当に人が集まるか不安だった。しかし、本番ではそんな不安をかき消すよくなたくさんの人々が集まり、このCM撮

**努力し、感謝する。
その思いを忘れない。**

岡部社長は、コミュニケーションを取るなかで、

社員一人ひとりの良さを引き出し、その人が育つ環境作りを心がけている。

人を大切にし、目に見えないところまで努力する姿勢を忘れない。これが岡部社長の「眞のスゴさ」ではなかろうか。そんな英姿に、誰もが信頼を寄せる。

社長は最後にこう語る。「映像を通して、人がハッピーになれるようなそんな場作りを目指している。世の中が明るく、楽しくなるように貢献し、エンターテインメント性をもつと

突撃! 撮影現場に潜入!!

ティーアンドイーといえば、やはり映像制作だろう。現場監督、カメラマン、照明スタッフなど、全てのプロフェッショナルが揃う撮影現場に潜入した。今回の撮影モデルは「食品」。これを俗に、「ジズル撮影」と呼び、食品を美味しそうに引き立たせるため、細部までこだわる撮影である。撮影対象が、人ではなくモノであるため、なかなか思い通りに撮影できず、早くから深夜まで撮影が行われることもしばしば。「たった数秒」の中でドラマを引き出ださうとする



〔カーット!!〕

ティーアンドイーといえど、やはり映像制作だらう。現場監督、カメラマン、照明スタッフなど、全てのプロフェッショナルが揃う撮影現場に潜入した。今回の撮影モデルは「食品」。これを俗に、「ジズル撮影」と呼び、食

品を美味しそうに引き立たせるため、細部までこだわる撮影である。撮影

撮影作業は、こだわればこだわるほど、時間も労力も必要なのだ。モノのバランス、カメラの位置、照明の角度……これら全てをミリ単位で調整していく。そんな撮影現場は「職人の真剣さ」で、ビリビリと「緊張感」が走る。依頼主が思い描く構想を、監督が受け取り、忠実に映像へと再現していく。そして、何度も試行錯誤を重ねていくうち

男なのに「涙で始まり、涙で終わつた取材」。

この取材を通して、自分自身の「何か」が変わりました。それは、些細なことですが「ありがとう」と言えるようになったこと。

「天神涼園地」というイベントを体験し、子ども達の純粋さ、素直さに触れ、「ありがとうございます」と笑顔で感謝されました。

その時、「今の自分は、家族や友人、周りの方々に感謝の気持ちを表せているのか」と考えさせられ、「感謝し、感謝されて、今の自分があるのだ」と実感しました。心から「

取材後記

“ありがとう”を伝えたい。

りがとう」と伝えるのは、簡単なようで難しいことです。そんな感謝の気持ちを、学ぶことができました。「ティーアンドイーの岡部社長、社員の方々、本当にありがとうございました」。



西南学院大学
池田恭平

映像の力で、九州から元気を

【会社名】 株式会社ティーアンドイー(大洋グループ)

【設立】 昭和61年6月

【代表者】 岡部知寛

【所在地】 福岡県福岡市中央区清川

2-12-6

【TEL】 092-524-1811

【URL】 <http://www.t-e.co.jp/>
<http://www.taiyogroup.co.jp/>

株式会社ティーアンドイー(T&E Co.Ltd.)は、株式会社大洋映画劇場のビデオ部として昭和45年に発足、その後いくつかの分離・分社化を経て平成11年に現在の映像制作とプロモーションを中心とした形となった。

現在は、CM制作から企業PR映像の制作、セールスプロモーションや各種ショー・ステージイベントの企画運営などを手がけている。

T&Eの映像作品の中で近年最も注目を集めた作品と言えば、九州新幹線全線開業のCMである。

この作品は、数ある広告アワードの中でも世界最大級の規模で開催される「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」に於いて銀賞、銅賞を受賞した。

同社の他の映像作品を取り上げても、誰もが一度は目にした事があり、一度見れば忘れないインパクトを持っている作品が並ぶ。

福岡から世界へ発信し、高い評価を得ているT&E。今後の動向に注目と期待が集まる。